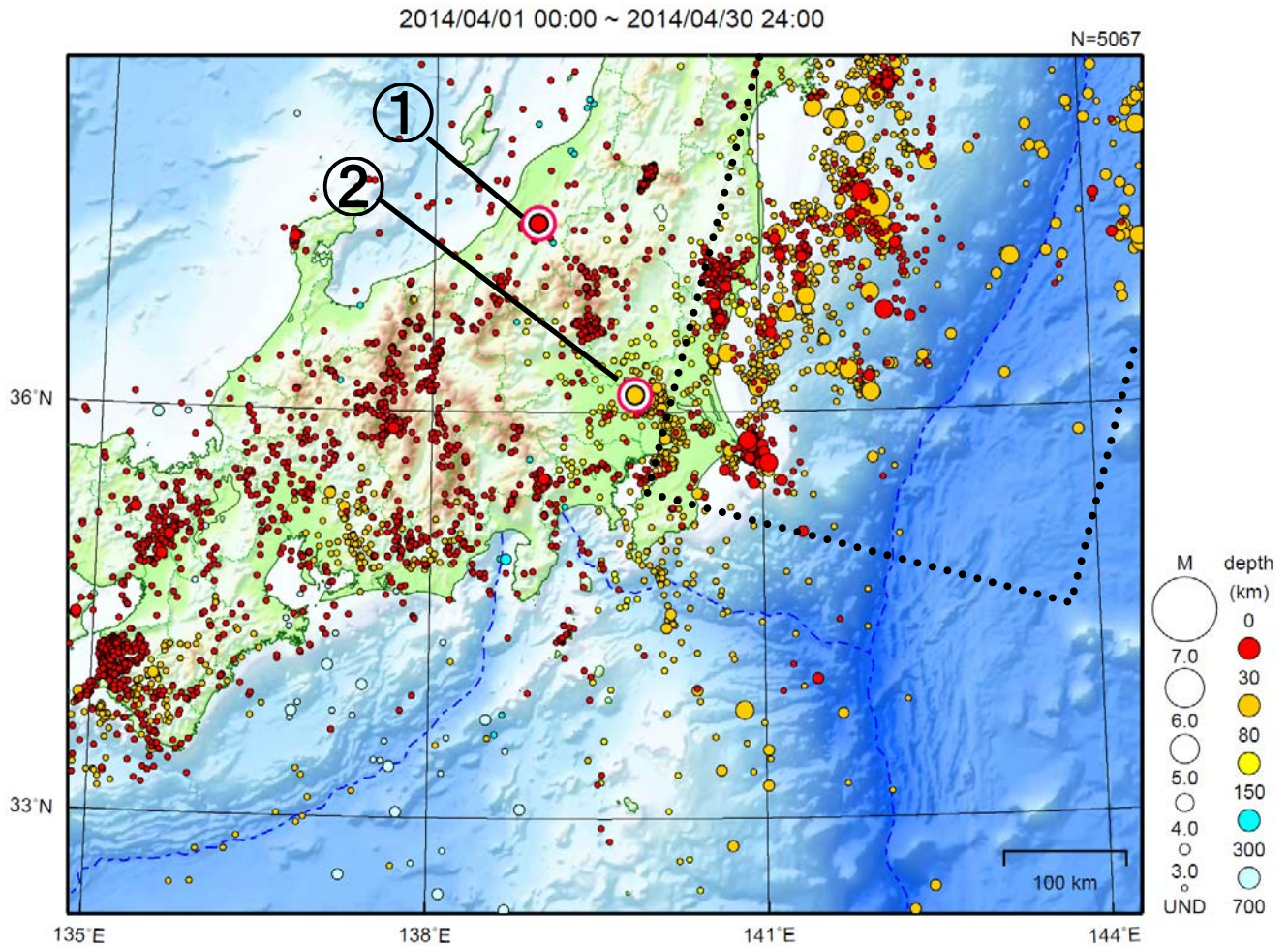


関東・中部地方



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 4 月 8 日に新潟県中越地方で M4.4 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ② 4 月 18 日に茨城県南部で M4.7 の地震（最大震度 4）が発生した。

（上記期間外）

- ・ 5 月 3 日から、岐阜県飛騨地方から長野県中部にかけて（岐阜・長野県境）、地震活動が活発となり、震度 1 以上を観測する地震が 44 回発生（12 日 10 時現在）した。12 日 10 時までの最大規模の地震は、3 日 15 時 26 分の M3.9 の地震（最大震度 3）である。
- ・ 5 月 3 日に硫黄島近海で M6.0 の地震（最大震度 2）が発生した。（上図範囲外）
- ・ 5 月 5 日に伊豆大島近海で M6.0 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

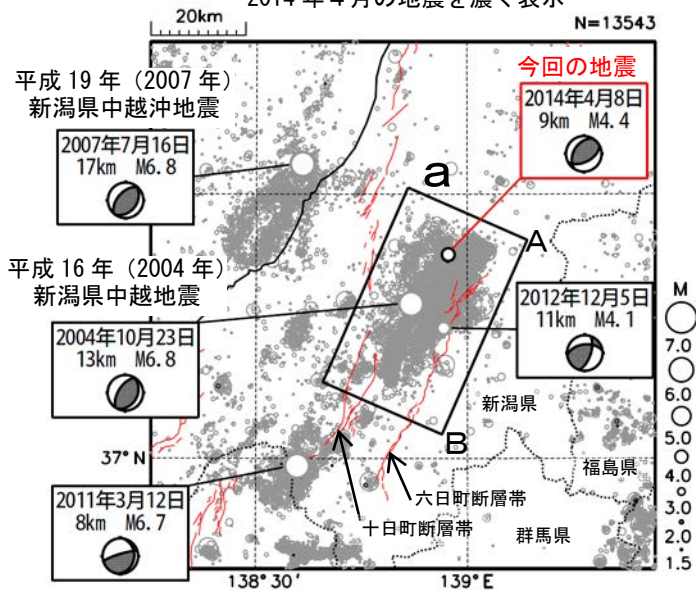
〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

4月8日 新潟県中越地方の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2014年4月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$)

2014年4月の地震を濃く表示



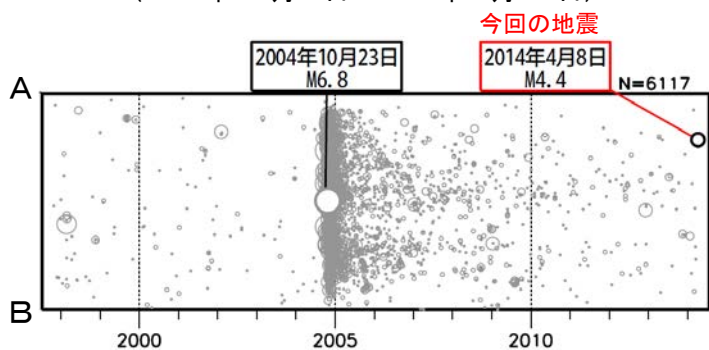
2014年4月8日05時07分に新潟県中越地方の深さ9kmで $M 4.4$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

今回の地震は、2004年10月23日に発生した「平成16年(2004年)新潟県中越地震」($M 6.8$ 、最大震度7)の余震域内(領域a)で発生した。領域a内で $M 4.0$ 以上の地震が発生したのは、2012年12月5日の $M 4.1$ の地震(最大震度3)以来である。

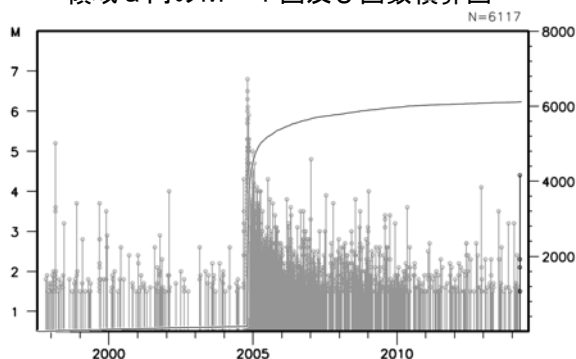
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、2004年に「平成16年(2004年)新潟県中越地震」が発生するまでは $M 6.0$ 以上の地震は1回しか発生していなかったが、2004年以降は「平成16年(2004年)新潟県中越地震」を含めて $M 6.0$ 以上の地震が8回発生している。

領域a内の時空間分布図(A-B投影)

(1997年10月1日～2014年4月30日)

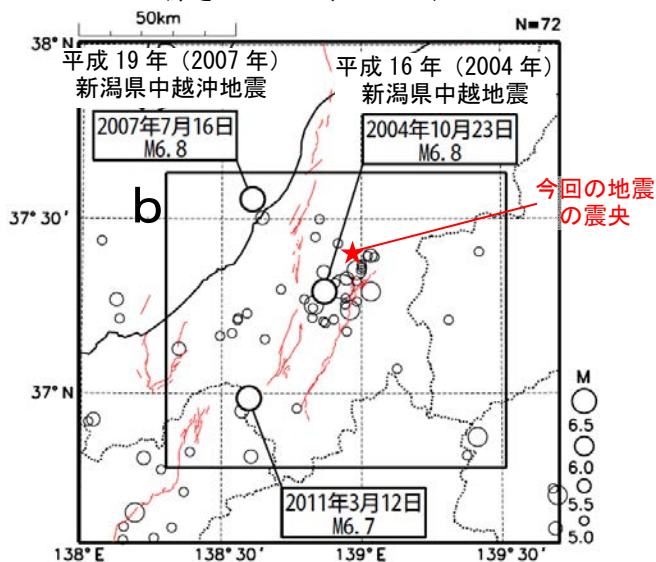


領域a内のM-T図及び回数積算図

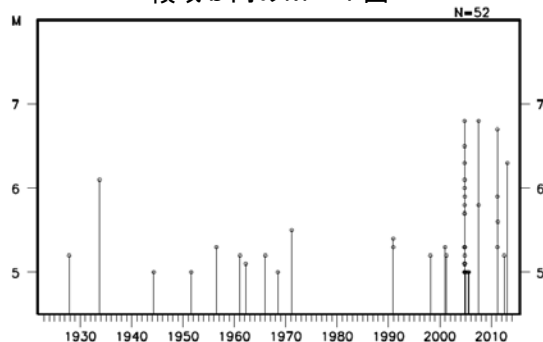


震央分布図

(1923年1月1日～2014年4月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図

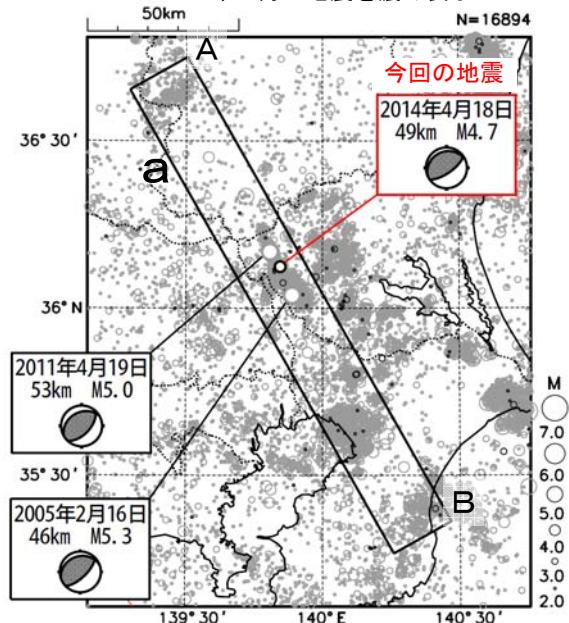


4月18日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2014年4月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2014年4月の地震を濃く表示

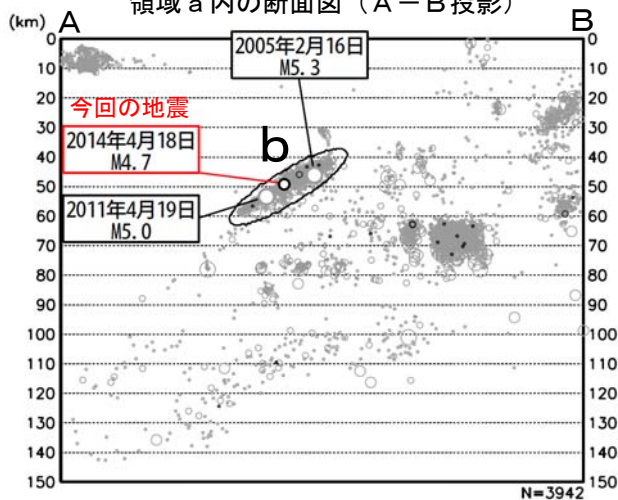


2014年4月18日07時53分に茨城県南部の深さ49kmでM4.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

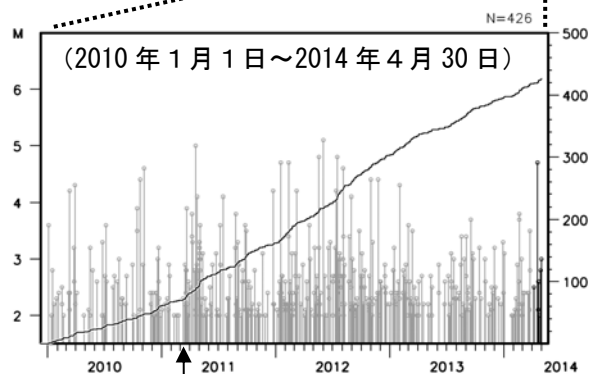
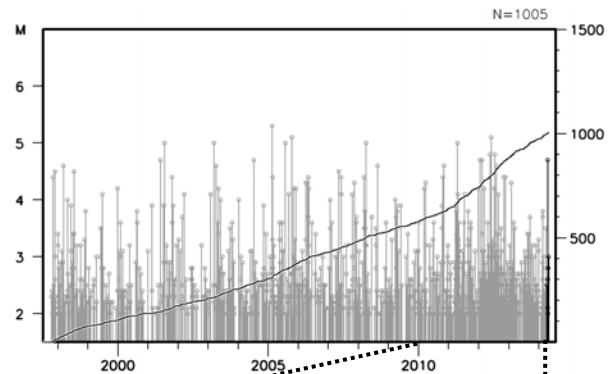
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、地震活動が活発な領域でM4.0以上の地震がしばしば発生している。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

領域a内の断面図(A-B投影)

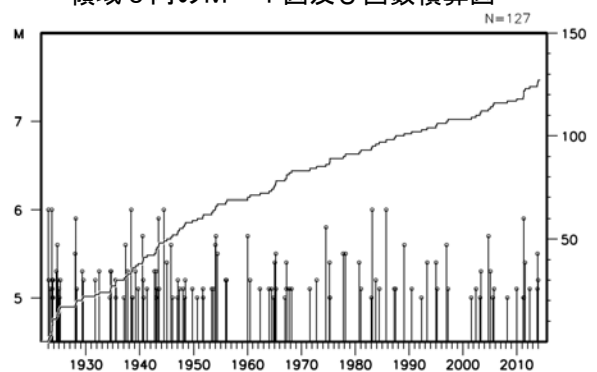


領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生

領域c内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2014年4月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

